



「日本知能情報ファジィ学会第26回総会」のご案内

標記総会を下記のように開催いたします。会員の皆様にはご多忙中とは存じますが、ご出席をお願い致します。

日本知能情報ファジィ学会会長 馬野 元秀

記

日 時：2015年6月21日(日)13:00～14:00

場 所：関西学院大学 大阪梅田キャンパス アプローチタワー 14階 1405教室
大阪市北区茶屋町19-19

交 通：JR「大阪駅」御堂筋出口から徒歩10分，
地下鉄御堂筋線「梅田駅」から徒歩7分，
同「中津駅」から徒歩4分，
http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/access/

- 議 題：1. 平成26年度事業報告
2. 平成26年度事業報告に対する監査報告
3. 平成26年度決算報告
4. 平成26年度決算報告に対する監査報告
5. 平成27年度事業計画案
6. 平成27年度予算案
7. その他

総会資料：6月15日(月)より下記のSOFTホームページからご覧いただけます。
<http://www.j-soft.org/>

資料に関するご質問は、庶務担当の前田理事(maeda@iot.ac.jp)へ、6月19日(金)までに電子メールでお願い致します。ご質問に対する個々の返答は致しかねますが、総会において回答申し上げます。

以上

論文賞および著述賞の推薦のお願い

日本知能情報ファジィ学会では、本学会誌に掲載された論文の中から特に優れたものに対して論文賞、本学会誌を含む各種雑誌の解説記事および一般書籍の中から特に優れたものに対して著述賞の表彰を行っています。学会賞選考委員会では、論文賞および著述賞に対して会員各位からの推薦を以下の要領で広く募集しています(自薦も可)。短い推薦期間で恐縮ですが、多数のご推薦をお待ちしております。

なお、学会賞規程は、2015年2月28日に改訂されています。詳細につきましては <http://www.j-soft.org/societyinfo/awardkite/> をご参照ください。

- 論文賞：本学会誌の2014年2月号から2014年12月号に掲載された論文
- 著述賞：2013年および2014年に出版された解説記事および書籍
- 推薦締切：2015年6月30日(必着)
- 送付先：学会賞選考担当宛に電子メール、ファックスまたは郵送
 メール：akiyama@kansai-u.ac.jp
 ファックス：06-6368-1193
 郵送：〒564-8680
 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号 関西大学環境都市工学部
 日本知能情報ファジィ学会 学会賞選考担当 秋山 孝正

第31回ファジィシステムシンポジウム開催案内

2015年のファジィシステムシンポジウムでは、ファジィ理論をはじめ、知能情報システムに関する講演やイベントを多数予定しております。

ファジィ理論誕生から50年という節目での開催であり、また、日本神経回路学会大会との2回目の合同開催となっております。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

なお、詳細はシンポジウム公式ウェブサイト(<http://fss2015.j-soft.org/>)に掲載いたします。

■会 期：2015年9月2日(水)、3日(木)、4日(金)

■会 場：電気通信大学 A棟, B棟

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

<http://www.uec.ac.jp/>

■テーマ：Fuzzy Sets 50年！次の半世紀に向けて

■スケジュール：

2015年5月8日(金)：一般セッション講演申込締切

2015年5月8日(金)：企画セッション講演申込締切

2015年5月8日(金)：ポスター・デモセッション講演申込締切

2015年6月30日(火)：一般セッション講演原稿送付締切

2015年6月30日(火)：企画セッション講演原稿送付締切

2015年6月30日(火)：ポスター・デモセッション講演原稿送付締切

2015年7月31日(金)：事前参加申込締切

■プログラム(予定)：一般講演、企画セッション講演(計画型・公募型)、ポスター・デモセッション、特別講演、招待講演、特別企画(ミニ四駆AI大会)、その他

■主 催：日本知能情報ファジィ学会(SOFT)、日本神経回路学会(JNNS)

■共 催：国際ファジィシステム学会(IFSA)

■協 賛(予定)：化学工学会、観光情報学会、計測自動制御学会、システム制御情報学会、社会・経済システム学会、情報処理学会、人工知能学会、数理社会学会、電気学会、電子情報通信学会、土木

学会, 日本医療情報学会, 日本応用数学会, 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 日本顔学会, 日本感性工学会, 日本機械学会, 日本教育工学会, 日本経営工学会, 日本経営システム学会, 日本計算工学会, 日本原子力学会, 日本建築学会, 日本行動計量学会, 日本心理学会, 日本数学会, 日本生体医工学会, 日本生物工学会, 日本繊維製品消費科学会, 日本デザイン学会, 日本人間工学会, 日本バーチャルリアリティ学会, 日本ロボット学会, バイオメディカル・ファジィ・システム学会, ヒューマンインタフェース学会, 進化計算学会, プロジェクトマネジメント学会, TBWA/HAKUHODO/QUANTUM, 株式会社アールティ, ファジィシステム研究所

■講演発表申込および原稿の投稿について:

本シンポジウムでは, 講演発表申込および原稿投稿に, 講演申込及び投稿システム (<http://sns.j-soft.org/fss/reading>) を利用いたします。原則として原稿はPDFによる電子投稿といたします。原稿は2ページ以上で最大6ページとします。投稿要領, 原稿フォーマットなど詳細につきましては, シンポジウム公式ウェブサイト (<http://fss2015.j-soft.org/>) をご参照ください。

なお, 電子投稿が難しい方は, プログラム委員会 (fss2015committee@gmail.com) まで, 別途ご相談ください。優秀な発表に対して, 日本知能情報ファジィ学会奨励賞, IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter, Young Researcher Award などの表彰を行う予定です。

■ポスター・デモセッション:

FSS2015では昨年と同じく, ポスターセッションとデモを融合させた「ポスター・デモセッション」を開催いたします。口頭発表では十分なデモ時間がないのもっと時間を取って研究成果を発表したい, 見学者や体験者からじっくり意見を聞きたいなどのお考えの方に適したセッションです。ファジィシステムやソフトウェア・コンピューティングなどの「知的システム」に関する実演デモとポスター形式の講演を募集します。

ポスターデモセッションでの発表希望者につきましても, 一般および企画セッション講演と同様にサイトによる「講演申込」と「事前登録申込」の両方の手続きをお願いいたします。

【注意事項】

- ・原稿1件あたりのファイルサイズは3MBまでとします。このファイルサイズを超える場合はプログラム委員会 (fss2015committee@gmail.com) まで, 別途ご相談ください。
- ・締切に間に合わなかった原稿は, プログラムに反映されないことがあります。
- ・申込のあった発表については, すべてプログラム委員会で審査します。プログラム作成時の都合で一部セッションを移動していただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・原稿提出時にタイトル, 著者, 所属が変更された場合は, 日本知能情報ファジィ学会のSNSにて登録情報の変更手続きをするようお願いいたします。プログラムはSNSの登録情報をもとに作成されます。
- ・FSS2015実行委員会では原稿等の誤記につきましてはチェックいたしません。必ず, 各自でご確認くださいようお願いいたします。
- ・講演原稿投稿には学会SNSのIDが必要となります。

【著作権】

本シンポジウムに投稿される原稿の著作権は, 最終原稿が投稿された時点で, 原則として, 日本知能情報ファジィ学会に帰属します。

■講演料:

ポスターセッションの有無および原稿のページ数に関係なく講演1件につき3,000円の負担をお願いいたします。なお, 別刷りの受注はいたしません。

■参加費・懇親会費：

会員種別	事前参加申し込み 7月31日(金)まで	当日参加申し込み 8月1日(土)以降
参加費(正会員※1)	10,000円	12,000円
参加費(学生会員※2)	4,000円	6,000円
参加費(特別会員)	4,000円	6,000円
参加費(名誉会員)	無料	無料
参加費(非会員)	18,000円	20,000円
参加費(学生非会員)	8,000円	10,000円
懇親会費(学生以外※3)	4,000円	5,000円
懇親会費(学生※3)	2,000円	3,000円

※1 法人会員，協賛学会員を含みます。

※2 協賛学会員，サイト会員を含みます。

※3 参加費には含まれていません。

上記以外に，講演1件あたり3,000円の講演料が必要です。

■参加申込について：

A) 事前参加申込(7月31日(金)まで)

1) 公式サイトでの参加申込

日本知能情報ファジィ学会SNSにて，参加者ごとに参加申込を行ってください。申込完了後，E-mailにて「参加(講演)申込の受付番号」を送付いたします。

2) 参加費，懇親会費などのお支払い

お支払いには郵便振替だけでなく，Paypal，クレジットカードもご利用いただけます。いずれかの方法にて，7月31日(金)までにお支払いください。

※銀行からの振込は受け付けておりません。

郵便振替をご利用の場合は，7月31日(金)までに次の郵便口座にお振込ください。

口座番号：01750-2-51403

口座名義：ファジィシステムシンポジウム実行委員会

振込用紙(払込取扱票)は本号に綴じ込みの用紙をご使用ください。郵便局に備え付けの払込取扱票を使用する場合は，口座番号と口座名義に加え，通信欄に申込者に関する情報を必ず記入してください。

複数名での振込も可能です。払込取扱票の通信欄に必ず送金者【全員の氏名】と各申込者の振込額，会員区分，「参加(講演)申込の受付番号」をご記入ください。また，ご講演をされる場合には「投稿論文の受付番号」も必ずご記入ください。その払込取扱票の受領証は確認の際に必要ですので保管してください。

B) 当日参加申込(8月1日(土)以降)

参加費，懇親会費等は，シンポジウム会期中に会場受付にて現金でお支払いください。郵便振替による振込は受け付けません。なお，懇親会は人数の都合によりお断りする場合がございますので，あらかじめご了承ください。

【注意事項】

7月31日(金)までに参加費・懇親会費などの振込がない場合は，すべて当日参加申込の扱いとなります。

■文献公開：

登録された講演論文情報は，科学技術振興機構(JST)が提供する「J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)」で公開します。

■大会組織：

実行委員長：岩田 満(都立産業技術高等専門学校)

財務委員長：井上 博行(福井大学)

プログラム委員長：片上 大輔(東京工芸大学)

実行委員：大村 英史(東京理科大学)

小林 一行(法政大学)

橘 完太(工学院大学)

西野 順二(電気通信大学)

橋山 智訓(電気通信大学)

山崎 洋一(神奈川工科大学)

山下 利之(首都大学東京)

正会員・学生会員各位

日本知能情報ファジィ学会選挙管理委員長 中島 智晴

日本知能情報ファジィ学会第14期理事等役員(内定者)の告示

日本知能情報ファジィ学会第14期理事会の選出につきまして、知能と情報(日本知能情報ファジィ学会誌)第27巻第1号(2015年2月号)および学会ウェブページ(<http://www.j-soft.org/info-society/4808/>)、学会メンバーリストでご案内しましたとおり、理事候補の推薦が期日までにございませんでした。そこで、日本知能情報ファジィ学会理事等選出規程の第5条第2項に基づき、理事等推薦委員会が理事候補を選出いたしました。ここにご報告申し上げます。なお、正式には日本知能情報ファジィ学会総会での承認をもって最終決定となります。

日本知能情報ファジィ学会第14期理事等内定者の自己プロフィール

(敬称略)

会長 萩原将文

慶應義塾大学理工学部情報工学科 教授

1982年慶應義塾大学工学部電気工学科卒業。1984年同大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了。1987年同博士課程修了。工学士。同年、同大学理工学部助手。1990年専任講師。1995年助教授。2002年より教授。その間、1991、1992年度米国スタンフォード大学訪問研究員。脳の柔軟な情報処理に興味を持ち、視覚情報処理、言語情報処理、感性情報処理、およびこれらの統合による気配りできるような人工頭脳の実現をめざしている。日本神経回路学会、日本デザイン学会、人工知能学会の理事、IEEE CIS Japan Chapter Chair を歴任。本学会では、2001年～2003年編集委員会副委員長、2002～2003年編集委員会論文委員長、2003年～2005年理事・学会誌編集委員長、2004年SCIS & ISIS2004 実行委員長、2005年～2007年副会長。

年阪南大学に赴任。阪南大学大学院経営情報学研究科教授を経て、2004年関西大学総合情報学部・大学院総合情報学研究科教授、副学部長、現在に至る。工学博士。専門は脳知能情報学、特に神経回路モデルと知識モデル、BCIの研究に従事。2012年日本知能情報ファジィ学会論文賞などを受賞。IFSA Vice President、日本神経回路学会理事、システム制御情報学会理事、日本知能情報ファジィ学会では、会誌編集委員、出版委員、事業担当理事、監事、関西支部長、副会長などを歴任。

副会長 中川友紀子

株式会社アールティ 代表取締役

1993年法政大学工学部電気工学科(計測制御専攻)卒業。1995年法政大学大学院工学研究科システム工学専攻修士課程修了。1995年東京工業大学大学院総合理工学研究科助手。1998年科学技術振興事業団(現科学技術振興機構)ERATO北野共生システムプロジェクト研究員。2001年日本科学未来館等を経て、2005年株式会社アールティを起業。サービスロボットの販売、研究開発、特に等身大の人型ロボットや多関節ロボットによるコミュニケーション、協働、クラウドロボティクスについて興味がある。Google I/Oなど、海外で紹介されること多数。RoboCup小型リーグ役員、マイクロマウス実行委員会実行委員。各種ロボット関連競技会にてロボット教育などエンジニア育成にも注力。研究者時代は画像処理、情景理解、ファジィ知識

副会長 林 勲

関西大学大学院 総合情報学研究科 知識情報学専攻教授

1981年大阪府立大学工学部経営工学科卒業。同年シャープ(株)入社。退職後、1985年大阪府立大学大学院博士前期課程修了。1987年大阪府立大学大学院博士後期課程中途退学。同年松下電器産業(株)中央研究所に入社。“ニューロ・ファジィ”モデルを提案。1993

表現などを手がけた。主な著書に「入門Bluetooth」(技術評論社)、「ロボLDK(日刊工業新聞社)」等。日本ファジィ学会関連では、学生会部△NGLE副会長(1994年)、日本ファジィ学会奨励賞(1996年)

理事

(庶務担当)

彌 富 仁

法政大学理工学部 准教授

東京女子医科大学医学部 非常勤講師

1998年3月慶應義塾大学理工学部電気工学科卒業、2000年3月同大学院修士課程修了。2002年4月同後期博士課程入学、2004年3月同課程修了 博士(工学)。2011年12月東京女子医科大学より、博士(医学)。2000年4月より4年間日本ヒューレット・パカード株式会社勤務。2004年より法政大学工学部助手。2009年同大学理工学部専任講師、2011年より准教授。2002年Star Award (Hewlett Packard Company)、2005年日本医用画像工学会奨励賞、2007年慶應義塾大学COE研究員最優秀活動証明、2011年Butterfield Award (UK-Japan Sasakawa Foundation)。電子情報通信学会、日本知能情報ファジィ学会(論文編集委員:巻頭言担当)、日本医用画像工学会(論文編集委員)、日本医学物理学会(第103回大会実行委員長、以降プログラム委員)、IEEE(Associate Editor; BME society)など各会員。画像認識、医用応用、学習機械等の研究に従事。

理事

(事業担当)

堀 口 由貴男

京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻 助教

1997年京都大学工学部精密工学科卒業。1999年京都大学大学院工学研究科精密工学専攻修士課程修了。2003年同大学院博士課程指導認定退学。同年京都大学大学院工学研究科精密工学専攻助手。2005年改組により機械理工学専攻助手、2007年同専攻助教となり、現在に至る。その間、2001~2003年日本学術振興会特別研究員、2010~2011年ウォータールー大学客員研究員。京都大学博士(工学)。システム工学技術を基礎とした人間行動の分析とモデル化、人間機械インタフェース設計の理論と応用に関する研究に従事。計測自動制御学会、ヒューマンインタフェース学会、システム制御情報学会、Human Factors and Ergonomics Society、IEEEの会員。本学会関連では、関西支部の会計幹事と監事、SCIS&ISIS2012のInternational Relations ChairとFuture Planning Committee

Secretary, FSS2013 財務委員長, SCIS&ISIS2014 Award Committee Co-chairなどを歴任。

理事

(会誌担当)

川 本 一 彦

千葉大学統合情報センター 准教授

1997年千葉大学工学部情報工学科卒業。1999年千葉大学大学院自然科学研究科知能情報科学専攻博士前期課程修了。2002年同情報科学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。同年、東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻助手。2005年九州工業大学工学部数理情報基礎講座助教授。2008年九州工業大学大学院工学研究院基礎科学研究系准教授。2009年千葉大学総合メディア基盤センター(2013年より統合情報センターへ名称変更)准教授。同年千葉大学大学院融合科学研究科情報科学専攻准教授兼担。現在に至る。コンピュータビジョンの研究に従事。2008年日本知能情報ファジィ学会奨励賞などを受賞。日本知能情報ファジィ学会では、会誌編集委員会副委員長などを担当。

理事

(広報担当)

三 河 正 彦

筑波大学図書館情報メディア系 准教授

1992年大阪大学基礎工学部機械工学科卒業。1994年大阪大学大学院物理学専攻機械工学分野博士前期課程卒業。1994年日本電信電話(株)アクセス網研究所、2001年日本電信電話(株)サービスインテグレーション基盤研究所、2003年筑波大学図書館情報学系講師、2006年筑波大学図書館情報メディア研究科助教授を経て現在に至る。博士(工学)。ロボティクスを中心に、制御、画像処理、ヒューマン=マシンインタラクション、ヒューマン=マシンインタフェイス等の研究を行っている。本学会関連では、SCIS&ISIS 2004 Finance Committee Co-chair、第9期理事会広報担当理事、FSS2009実行委員会プログラム委員長、2013-2014年度会誌編集委員会委員長等を務める。

理事

(将来構想・他学会連携担当)

片上大輔

東京工芸大学工学部コンピュータ応用学科 准教授
2002年東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。同年東京工業大学大学院総合理工学研究科助手。2007年東京工業大学大学院総合理工学研究科助教。2006年英国ハートフォードシャー大学、スイスチューリヒ大学の客員研究員兼任を経て、2010年東京工芸大学工学部コンピュータ応用学科准教授。現在に至る。人工知能、ヒューマン-エージェントインタラクションに関する研究に従事し、現在は、人間共生システム、人狼知能、霧困工学などの研究に従事。本学会においては、学会誌編集委員、人間共生システム研究部会副代表幹事などを歴任。他に、人工知能学会評議員、人工知能学会編集委員、合同エージェントワークショップ&シンポジウムシニアプログラム委員、国際会議 Human-Agent Interaction において Publicity Chair などを歴任。

理事

(賞選考・女性会員)

伴 浩 美

長岡技術科学大学大学院 工学研究科 教授
日本女子大学文学部英文学科卒、日本女子大学大学院文学研究科英文学専攻博士課程前期修了。お茶の水女子大学大学院人間文化研究科複合領域科学専攻博士後期課程単位取得満期退学。文学修士。1993年4月富山国際大学人文学部専任講師、1999年4月同助教授、2007年4月東京未来大学こども心理学部准教授、2011年4月福井工業大学工学部准教授を経て、2014年4月より現職。この間、富山大学、信州大学、青山学院大学、昭和大学にて非常勤講師を勤める。日本知能情報ファジィ学会(1997年より)、日本感性工学会、電子情報通信学会、日本設備管理学会、日本教育心理学会などの会員。計量言語学、テキストマイニング、eラーニングなどの研究に従事。2012年日本知能情報ファジィ学会より貢献賞受賞。本学会関連では、FSS2011実行委員(デモ企画担当)、会誌編集委員、北信越支部幹事を歴任。

理事

(大会事業担当)

橋山智訓

電気通信大学大学院情報システム学研究科情報メディアシステム学専攻 准教授

1967年北海道函館市生まれ。1996年名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程電子情報学専攻修了。博士(工学)4月同助手。1997年(財)名古屋産業科学研究所主任研究員。2000年名古屋市立大学自然科学研究教育センター講師。2001年同助教授。2003年電気通信大学大学院情報システム学研究科情報システム設計学専攻准教授。2007年改組に伴い、情報メディアシステム学専攻准教授。現在に至る。ファジィシステムを中心とした、他のシステムとのハイブリッドシステムなど、知的システムの構築研究に従事。最近では人間の行動観察や不合理性などにも興味を持っている。本学会では、大学院生時代から学生部会へ参加し、先達の懐の広さに触れ、以来、SOFTに関わり続けている。学会誌編集委員、東海支部運営委員、関東支部運営委員、ECOmp研究会運営委員等を歴任。第10期広報担当理事(2007-2009)。第21回ファジィシステムシンポジウム(FSS2005)実行委員長。第31回ファジィシステムシンポジウム&第25回日本神経回路学会全国大会合同大会(CI2015)運営委員。Fuzzy Sets 誕生から半世紀の歴史を踏まえ、SOFTの継承と発展のために微力ではあるが貢献していきたい。

理事

(電子化検討担当)

星野孝総

高知工科大学 准教授

昭和45年9月7日生。感性工学、ファジィシステム、進化計算、知能ロボティクス、知能システム、知的画像処理、機械学習、脳機能マッピングの研究開発に従事。また、近年では知能システム(インテリジェントシステム)のハードウェア化に興味をもち、リアルタイム知的画像処理システムをベースに SISOC(Soft Intelligent System On Chip)の研究/開発に従事。平成13年立命館大学大学院理工学研究科 単位取得満期退学。平成14博士(工学)号取得(立命館大学)。平成12年立命館大学リサーチアシスタント、平成14年立命館大学講師。平成19年高知工科大学工学部電子・光システム工学科 助教授。平成20年同大学システム工学群 准教授となり現在に至る。日本知能情報ファジィ学会では編集委員、評議員、ソフトロボティクス研究会代表幹事、第13期理事会電子化担当、FSS2014実行委員長等を歴任。

理事

(会計・会員)

金久保 正 明

静岡理科大学総合情報学部コンピュータシステム
学科 教授

1987年筑波大学第二学群比較文化学類卒業。企業勤務等を経て、2003年慶應義塾大学大学院後期博士課程終了。特許庁(非常勤)審査調査員の後、2004年、東京工科大学コンピュータサイエンス学部助手。2006年、静岡理科大学総合情報学部人間情報デザイン学科講師。2010年、同准教授。2014年、同学部コンピュータシステム学科教授、現在に至る。2006～2012年、編集委員会委員、第12期13期評議員、2012年～東海支部運営委員、EDR電子化辞書を用いた発想支援システムに関する研究で学位取得、完成を人間に委ねる発想支援よりも、コンピュータが発想を行うシステムに魅力を感じ、ことば工学の研究に従事。しばらく駄洒落生成等を行っていたが、新分野への展開も模索している。

監事

(会計)

井 上 博 行

福井大学 教育地域科学部 准教授

1993年立命館大学理工学部情報工学科卒業。1998年立命館大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。同年福井大学教育学部講師。1999年福井大学教育地域科学部講師。2000年助教授を経て、2007年より准教授、現在に至る。遺伝的アルゴリズムによるファジィルール自動生成に関する研究、感性モデルによる支援システム、対話型進化計算による配色支援

システムなどの研究に従事。これらの他に最近では、地域や環境のデータや住民の意識調査などのデータに対して、ソフトコンピューティングや感性工学のアプローチから分析することも試みている。本学会では、第13期理事会理事(会計・会員担当)、事業委員会委員、会誌編集委員会委員、ファジィ・コンピューティング研究部会幹事、北信越支部幹事、人間共生システム研究部会幹事、FSS2013プログラム委員長、FSS2014財務委員長、FSS2015財務委員長を歴任。

監事

(事業)

徳 丸 正 孝

関西大学 システム理工学部 准教授

1995年関西大学工学部電子工学科卒業。1997年同大大学院工学研究科博士課程前期課程了。同年同大工学部電子工学科助手。2008年同准教授。博士(工学)。これまで人の主観や曖昧さの扱いに関心を持ち、ファジィ理論による色彩や音楽の感性情報処理の研究を行ってきた。現在は感性情報システム、対話型進化計算を応用したヒューマンコンピュータインタラクションの研究に従事している。また、ロボットの感情モデルに興味を持ち、人間の感情発達をヒントにしたロボットの感情表出モデルの研究も行っている。2003年日本知能情報ファジィ学会奨励賞を受賞。本学会ではこれまでに、第13期理事(事業担当)、会誌編集委員、事業委員、学会賞選考委員、大会事業委員、評議員、関西支部副支部長、評価問題研究部会代表幹事、SCIS & ISIS2012 Award Committee Chair、FSS2014プログラム委員長などを歴任。

日本知能情報ファジィ学会行事カレンダー（Vol.27-No.2：2015年4月）

「照会先」の欄に広報用のURLが掲載されている行事につきましては、それらのホームページにより詳細情報をご確認ください。

●：日本知能情報ファジィ学会、支部、研究会の主催行事

行事名	開催日	開催地	申込〆切
照会先			
日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス講演会2015 http://robomech.org/2015/	2015年5月17-19日	京都市勧業館・みやこめっせ (京都府京都市左京区)	2015年1月30日
日本計算工学会 第20回計算工学講演会 http://www.jscs.org/koenkai/20/index.html	2015年6月8-10日	つくば国際会議場	2015年1月21日
日本人間工学会 第56回大会 https://www.ergonomics.jp/conference/2015/	2015年6月13-14日	芝浦工業大学 芝浦キャンパス (東京都港区)	2015年2月20日
日本機械学会 第14回「運動と振動の制御」シンポジウム (MoVic2015) http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=3488 http://www.jsme.or.jp/conference/movic2015/	2015年6月22-24日	栃木県総合文化センター (栃木県宇都宮市)	2015年3月2日
日本学術会議 安全工学シンポジウム2015 http://www.anzen.org/	2015年7月2-3日	日本学術会議講堂他 (東京都)	2015年3月13日
日本ロジスティクスシステム学会 第18回一般社団法人日本ロジスティクスシステム全 国大会 http://jsls-world.jp/	2015年7月11-12日	豊橋創造大学 (愛知県豊橋市)	2015年3月
可視化情報学会 可視化情報シンポジウム2015 http://www.visualization.jp/event/detail/symp2015.html	2015年7月21-22日	工学院大学新宿キャンパス (東京都新宿区)	2015年3月27日
電気学会 平成27年電気学会 電子・情報・システム部門大会 http://www.iee.jp/eiss/conf2015	2015年8月26-29日	長崎大学文教キャンパス (長崎県長崎市)	2015年5月15日
日本機械学会 Dynamics and Design Conference 2015 (D&D2015) http://www.jsme.or.jp/conference/dmconf15/	2015年8月25-28日	弘前大学 (青森県弘前市)	2015年3月13日
日本感性工学会 第17回感性工学会大会 http://www.jske.org/taikai/jske17/	2015年9月1-3日	文化学園大学新都心キャンパス (東京都渋谷区)	2015年7月10日
電気学会 平成27年産業応用部門大会 http://www.iee.jp/ias/wp-content/uploads/sites/6/2013/12/jiasec2015_info_1st.pdf	2015年9月2-4日	大分大学巨野原キャンパス (大分県大分市)	2015年5月8日
日本ロボット学会 第33回学術講演会 http://rsj2015.rsj-web.org/	2015年9月3-5日	東京電機大学 (東京都足立区)	2015年6月26日
可視化情報学会 可視化情報全国講演会(京都2015) http://www.measlab.kit.ac.jp/cf/2015/vsj2015_kyoto.html	2015年10月10-11日	京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス (京都府京都市左京区)	2015年6月5日

ファジィ関連国際会議カレンダー (Vol.27-No.2 : 2015年4月)

会議名 照会先	開催日	開催地	申込〆切
ISMVL 2015 2015 IEEE International Symposium on Multiple-Valued Logic http://www.mvl.jp.org/ISMVL2015/	2015年5月18-20日	Waterloo, Canada	2014年11月23日
iSMSC 2015 2015 International Symposium on Mathematical Sciences and Computing Research http://perak.uitm.edu.my/ismsc/2015/	2015年5月19-20日	Perak Darul Ridzuan, Malaysia	2015年4月4日
CEC 2015 2015 The annual IEEE Congress on Evolutionary Computation (IEEE CEC) http://sites.ieee.org/cec2015/	2015年5月25-28日	仙台国際センター (宮城県仙台市)	2015年1月16日
ICMSAO 2015 2015 6th International Conference on Modeling, Simulation, and Applied Optimization http://www.icmsao.org/	2015年5月27-29日	Istanbul, Turkey	2015年1月15日
CSCS 2015 2015 20th International Conference on Control Systems and Computer Science http://cscs20.acs.pub.ro/	2015年5月27-29日	Bucharest, Romania	2015年1月31日
ISIT 2015 2015 IEEE International Symposium on Information Theory (ISIT) http://www.isit2015.org/	2015年6月14-19日	Hong Kong	2015年1月19日
ICIEV' 15 4th International Conference on Informatics, Electronics & Vision (ICIEV) http://cennser.org/ICIEV/	2015年6月15-18日 (木)	北九州国際会議場 (福岡県北九州市)	2015年3月15日
IFSA-EUSFLAT 2015 The 16th World Congress of the International Fuzzy Systems Association (IFSA) and the 9th Conference of the European Society for Fuzzy Logic and Technology (EUSFLAT) http://www.softcomputing.es/ifsa-eusflat2015/	2015年6月30日-7月3日	Gijon, Asturias, Spain	2015年1月16日
FUZZ-IEEE 2015 2015 IEEE International Conference on Fuzzy Systems (FUZZ-IEEE) http://www.fuzzieee2015.org	2015年8月2-5日	Istanbul, Turkey	2015年1月23日
CIG 2015 2015 IEEE Conference on Computational Intelligence and Games (CIG) http://cig2015.nctu.edu.tw/	2015年8月31日-9月2日	Tainan, Taiwan	2015年7月2日
iFUZZY 2015 2015 International Conference on Fuzzy Theory and Its Applications http://isdlab.ie.ntnu.edu.tw/ifuzzy2015/	2015年11月18-20日	Yilan, Taiwan	2015年9月8日

会 議 名	開 催 日	開 催 地	申込〆切
照 会 先			
SSCI 2015 2015 IEEE Symposium Series on Computational Intelligence (SSCI)	2015年12月7-10日	Cape Town, South Africa	2015年6月14日
http://www.ieee-ssci.org			
CDC 2015 2015 IEEE 54th IEEE Conference on Decision and Control	2015年12月15-18日	Osaka, Japan	2015年5月24日
http://www.cdc2015.ctrl.titech.ac.jp/			